

中山間地は日本の原点。守ります、築きます、中山間地域の暮らしを。

県政をもっと身近に！

# 県政報告

## 第10号

令和3年8月



島根県議会議員

高橋まさひこ

高橋まさひこ事務所 〒699-1251 島根県雲南市大東町大東1888 TEL0854-43-8057

梅雨末期の記録的な大雨による雲南地方の被害は甚大でした。被害にあわれた皆さまには心からお見舞い申し上げます。

夏休みに入ってから始まった東京五輪は新型コロナウイルス感染症の猛威の中で強行開催され医療現場で混乱が続き、パリンピックへの影響が心配されています。

六月県議会が開催されました。本号では、一般質問についての報告を中心に、木次線問題やコロナ対策、豪雨災害での新たな動きを取り上げました。

### 令和三年六月定例会

(六月八日～七月一日)

#### 高橋まさひこ 一般質問

① 木次線について

② マイナンバーカードについて

③ 孤独について

#### ① 木次線存続について

**問** 一般利用者と観光利用者の2本柱で頑張ってきた沿線住民にとってトロッコ列車の廃止は衝撃的提案。今後どのような交渉を行っていくのか？

**答** 丸山達也知事

JRからは、トロッコ列車に限らず、沿線の観光振興の方策も含めた

議論が必要との意見を受けた。

**問** 丸山知事は実際にトロッコ列車に乗って、観光商品としてのその価値を高く評価されている。木次線の存続対策の一環として予算計上もされ、心強いメッセージを発信された。改めて知事の所見は？

**答** 丸山知事

現行トロッコ列車の運行継続困難との説明を受けたが、県と地元市町、関係者、JRと一緒に議論をしたいと思います。県としても積極的に参画関与し、要望した内容についての議論をしっかり行っていきます。

**問** 利用促進状況と、事業者の届け出で廃止できる鉄道事業法について抜本的な見直しを要望する意見書を議決して国へ提出している。県の取り組みと国の動向は？

**答** 藤井洋一 地域振興部長

1か月分の定期券などを助成する事業には、想定人数50人に対して15人が申込み。5人以上の団体にJR運賃や貸し切りバス運賃などの半額助成には2820人の想定に、申し込みは26件、利用者は447人(6月15日現在)。鉄道事業法の在り方を見直すよう国へ重点要望。また、中国地方知事会、全国知事会でも問題提起している。

**問** 現行の車両を更新できない理由を、JRからどう説明を受けているか。

**答** 太田史朗 商工労働部長

製造から約50年経過し、車両を維持することが困難と説明を受け、また、転用可能な車両の有無や代替車両の提案は現在のところございません。

## 県が主導、観光列車運行検討会が発足

島根、広島両県と沿線五市町、JR西日本米子支社で構成する「木次線観光列車運行検討会」が今月、発足しました。トロッコ列車「奥出雲おろち号」の存続の可能性を議論します。

JR西が車両の老朽化を理由に、令和5年度での運行終了を発表したのを受け、おろち号の現行車両での継続運行や中古車両の改造や新造による後継車両の導入の可否のほか、木次線とつながる芸備線を含めた観光振興についても話し合う。

県が事務局を務めて調整役を担う。藤井洋一地域振興部長は「丸山知事は非常に危機意識を持っている。県がリーダーシップをとって沿線市町と話し合っていく」と強調。JR三江線の対応で、県が沿線市町とJR西との間で「中立」を貫いた過去と同じ道はたどらないことを明言しました。

JRは、コロナ禍の中でビジネス、観光、通勤で乗客数が大きく落ち込み、巨額損失が発生。赤字ローカル線の維持と新幹線収益で補ってきた経営方針も見直すべき喫緊の課題となってきた。三江線と同様の道をたどるのではないかと心配しています。

## 存続には行政、住民の情熱がカギ

木次線は奥出雲・雲南地方ばかりか島根の宝。次世代に引き継ぐ事が地域としての使命。「雲南市蒸気機関車C56108保存会」、(会員約

250人)の堀江晴俊会長が6月28日、赤字ローカル線の廃止や国鉄分割民営化という歴史的転換期を行政・住民の存続への運動で乗り越え、全国から注目されている鳥取県の若桜鉄道(八頭町・郡家駅～若桜町・若桜駅間19.2キロ)を訪れ、鉄道を基軸にした地域づくりを学んで帰られました。

昭和5年に国鉄若桜線として開通。公共交通機関として地域・産業の発展に長年にわたり貢献してきたが、山間部の過疎化、基幹産業である林業の衰退に伴い、運輸・交通の動脈としての機能を低下。廃線の危機に直面したが、昭和62年に第三セクター若桜鉄道株式会社に引き継ぎ、平成21年4月からは公有民営方式による上下分離で運行され、黒字化に成功されています。

大型バイク「隼」と同じ名前の隼駅には毎夏、全国から二千人を超えるライダー達が駆け付けます。この熱い思いに応え、車両に大型バイクをラッピングした隼列車、地元の人たちが懐かしい鉄道の旅を楽しめる「昭和号」などの観光列車を走らせ、レトロな良さを生かした駅ナカ店舗「若桜カフェ」のある終着若桜駅、



観光列車を見学する堀江会長(左)

通学の利便性を考えて開業された八頭駅など9駅を出発点に特徴ある新旧の店や宿泊施設も魅力いっぱい。鉄道を通じて活力ある地域へ確かな歩みを進めています。

6年前にも訪れたことがある堀江会長は「若桜線は一步一步着実に魅力を増しています。会社発足から34年、『乗って残そう』と、行政と住民が力を合わせ『情熱』を傾けた成果です。見習って木次線も地域の底力でも何としても残していきたい」と強調されました。

## ②マイナンバーカード普及率は28.9%

問 コロナ禍の中で、行政サイドのデジタル化の遅れを露呈した問題の背景には、マイナンバーカード発行で個人情報流出する恐れがあると認識されているからと考える。普及すれば、行政事務の大幅な省力化や行政サービスの飛躍的な改善がはかられるはず。

答 県の普及率とどのようなセキュリティ確保が行われているのか。  
野津建二企画局長

28.9%（5月1日現在、全国平均は30.0%）。紛失または盗難の場合でも、顔写真入りのために対面での悪用は困難であり、オンラインで使用するためには暗証番号が必要。不正に情報を読み出そうとするとICチップが壊れる仕組みになっている。税や年金などの情報は入っておらず、国によると、仮にカードの数字が他人に知られても、芋ずる式に

情報が洩れることはない。

## ③自死の38%が独り暮らし 日常生活の会話が大切

問 2月の質問では孤独死の明確な定義はなく、統計資料がないとの回答でしたが、病院外で亡くなられた場合、警察が事件性の有無を調べられているはず。県警が取り扱った事例のうち、孤独の方の件数は？

答 堀内尚 県警本部長  
県警が取り扱った御遺体数は令和元年が913体、2年が882体。このうち独居の方は元年が367体、2年が337体。本年5月末時点では430体を調べ、うち独居の方は166体である。過去5年間の平均では、全体の約38%が独り暮らしの方である。

## 軽症者らの宿泊療養施設が完成、コロナ対策で県が先手

コロナ禍対策として、7月に無症状者と軽症者を受け入れる専門の宿泊療養施設が松江市北陵町のソフトビジネスパーク島根内にオープンしました。一足早く、視察に行きました。

この宿泊療養施設はプレハブ2棟、約1400平方メートル。受け入れ可能な人数は計80人。すべて個室で、シャワー、トイレを備えています。看護師と生活支援者各2人が常駐して患者の世話をします。経費は2年間のリース契約で約4億4千万円。これまでは玉造温泉のホテルと契約して軽症者、無症状者を受け入れていましたが、観光面にも力を注ぐ必



オープンしたコロナ宿泊療養施設

要があるためにも、また、自宅待機中に急変して命を落とすことがないよう、県がまさかにも備えて先手を打った施設です。

この施設が満員にならないように、今一度、私たちも感染対策に万全を期しましょう！

## 大雨被害支援に 3億3600万円 県が補正専決処分

6月定例島根県議会は、新型コロナウイルスの感染症拡大で打撃を受けた飲食業支援に重点を置いた総額90億3100万円の今年度一般会計補正予算案など、26議案を可決しました。

年間売り上げが3割以上減った事業者にも、規模に応じて1店舗当たり50〜120万支給する給付金制度を創設したのが特徴。丸山達也知事が五輪聖火リレーの中止検討を引き合いに訴えた経済支援策が国を動かしました。このほか、長期化するコロナ禍に苦しむ中小企業を支える融資防止対策を徹底させる第三者認定制

度導入やアクリル板購入費支給に8億9800万円▽特典付き前売り飲食券発行1億2千万円など盛り込んでいます。

また、豪雨被害を受け、県は、3億3600万円の補正予算を専決処分。雲南地方での全壊3棟、半壊7棟、一部破損134棟の対象地帯に40〜300万円が支援され、中小企業や農業従事者向けに3年間無利子となる制度融資を設け、復旧が支援されます。

補正後の一般会計総額は4763億8500万円。

## 7月梅雨前線豪雨による公共土木施設の被害状況について

令和3年7月21日現在（単位：千円）

地区	工 種										計		
	河 川		砂防設備		地すべり		道 路		湾 岸		箇所	金額	
	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額			
県	247	9,120,900	5	132,000			104	1,643,800			356	10,896,700	
雲南	雲南市	78	1,086,720					173	2,259,200			251	3,345,920
	奥出雲町	25	203,300					13	78,200			38	281,500
	飯南町	135	706,203					8	88,604			143	794,807
	合計	485	11,117,123	5	132,000			298	4,069,804			788	15,318,927

7月豪雨災害は、雲南市や飯南町に多くの災害をもたらしました。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。災害復旧は国・県・市町村が力を合わせ進めなければなりません。被災地を訪れご意見も伺いました。赤澤副大臣、島根県出身の国会議員、そして丸山知事にも被害状況を視察していただきました。県や市町村の財政は厳しく、今後の国の支援対策に期待するところです。

コロナも感染力の強い変異型がまん延し始めており、県内でも発生しています。丸山知事からお盆の帰省を自粛するようメッセージも発信されています。首都圏中心に緊急事態宣言も効果が表れず、自粛要請も限界に近づいています。東京の行動範囲の広い二十代から五十代にワクチン接種をすれば、日本全体の感染を抑制すると考えていますが、政府に苦言をいう小池知事はなぜ提案をしないのでしょうか。

国家的危機に日本の法律はあまりにも未整備で、場当たり的対応をしてきました。島根県のために働かれた竹下巨先生も体調不良によりご勇退されます。島根県2区の候補者が公募により選出される予定ですが、国家論が論じられ、島根県を心から思う方が選出されることを心から願っています。

県議会の動向、詳しい活動状況に興味ある方はアクセスを！



WEBサイト



高橋まさひご事務所  
発行責任者 高橋雅彦

〒699-1251 島根県雲南市大東町大東1888  
TEL.0854-43-8057 FAX.0854-43-6479

https://m-takahashi.jp  
info@m-takahashi.jp